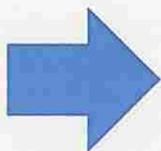


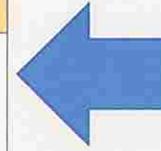
長崎市第四次教育振興基本計画

- G1-1 確かな学力向上
- G1-2 健やかな体と心の育成
- G1-3 学校・家庭・地域の連携による教育の充実
- G1-4 子どもが安全安心に学べる教育環境の整備



学校教育目標

豊かな心もち
自ら求めて学ぶ意欲と実践力のある
健康でたくましい日見っ子の育成



児童の実態

- ・挨拶が全体的によくってきている
- ・学習へ主体的に取り組もうとする意欲が高まってきている
- ・毎日の外遊びに個人差がある

個別最適な学び・協働的な学びの
視点を取り入れた授業実践

ゴールの明確化

- ・単元のゴールを明確にする
- ・どのような学習をすれば目標を達成できるのかを考えさせたり、提示したりする

構造的な板書

- ・めあてとまとめの視覚化
- ・1単位時間の思考の流れの視覚化

振り返りの徹底

- ・発達段階に応じた振り返りを行い、個々の学習状況の把握をする

授業改善

- ① 各クラス1学期末評価問題→学年末評価問題
「知識及び技能」「思考力・表現力・判断力」
それぞれで正答率5%アップを目指す
- ② 来年度学力テストで、市平均との差を4年は-2pt、
県平均との差を5年は国語-1pt、算数+1pt、
6年は国語+3pt、算数-3ptを目指す

児童のウェルビーイング
の向上につなげる

- ③ 教師が児童のつまずきや困り感を理解し
適切な支援や工夫を行い
授業に参加しやすい環境を整える

児童の課題を
改善するための取組

問題文を正しく読み取り、表現することができるようにする

- ・国語の問題集やQubenaに取り組み、問題に慣れる
- ・尋ねられていることに線を引く
- ・疑問の言葉（なぜ、何、いつ、どこ、など）の答え方を提示する
- ・表現の仕方のモデルを提示し、書き方の見通しをもたせる

自力解決・対話を工夫し思考力向上を図る

- ・選択肢をつくる、並び替える など
- ・対話の視点の明確化、形態の工夫 など

振り返りによる主体的態度の向上

- ・成果を実感し次の学習につなげる
- ・振り返りの視点を提示する

ユニバーサルデザインの
教室づくり

学習規律の
視覚化・徹底

学習意欲の向上

知識及び技能の定着

発達段階に応じた
言語活動の充実

宿題提出率
100%

学習用具の
忘れ物ゼロ！

課題を踏まえた 土台づくり・授業改善

基礎的・基本的な学力の定着と問われていることに沿った思考力・表現力が課題

※赤字は今年度の重点課題

日見小学校 学力に関する児童の課題

1年生	2年生	3年生
正確に読む力や書く活動が苦手な児童が多い 読解力が乏しく、問題の意味を適切に 理解できない児童が多く見られる	正確に漢字を読み書きする力が身に付いていない 聞く力が弱く、正確に理解することが苦手な児童が多い 時刻と時間の理解が不十分である	書く活動が苦手な児童が多い 言葉の意味を理解できていないことが多い 基本的な計算力や図形の理解が不十分である
4年生	5年生	6年生
条件に沿った自分の考えを書くこと苦手な児童が多い 共通点や相違点を考えながら聞くことが苦手である 基本的な計算力や数の概念の定着が不十分である	修飾語などの理解や目的にあった文章構成が苦手である 基本的な計算力や数の概念の定着が不十分である 図形の理解が不十分である	資料を用いて自分の考えをまとめることが苦手である 漢字の読み書きや基本的な計算力が不十分である 図形の理解が不十分である